



# Leaf

Vol.15

場 所 : メディア棟 2階  
 蔵書冊数 : 21,017冊  
 新 聞 : 8紙  
 雑 誌 : 19誌

## 📖 6月10日は「時の記念日」です。

「時の記念日」が制定されたのは今から100年程前の1920年に遡ります。  
 その頃の日本は社会生活の近代化が進められておりました。

671年4月25日に天智天皇が「漏刻」と呼ばれる水時計を建造し、人々に初めて時刻を知らせたと『日本書紀』で伝えられていたことから、より合理的な日常生活を目指し、「時間の大切さを知り、時間を守ることの意識を国民に広くもってもらおう」という意味を込めて、4月25日を太陽暦に換算した6月10日を「時の記念日」と制定したそうです。



## 📖 図書紹介

館内にある本を紹介しています。借りることができます。

### 『時の名前』

三枝 克之／編・文 西 美都／写真 KADOKAWA (分類：449)

「時」を表す様々な言葉が、その言葉に合わせた美しい写真と共に記載されています。すでに使い慣れたけど自分で説明できない言葉や、映画やドラマ、教科書などで見聞きしただけで、漠然としていた言葉の本当に意味を知ることができます。その「時」に見合った「名前」を自由自在に使いこなせたらいいですね。



### 『「時刻表」はこうしてつくられる』

時刻表編集部OB／編著 交通新聞社 (分類：686)



現在私たちが目的地までの時間的な行程を気軽な検索できちんと把握できるのは、「時刻表」の存在があるからではないでしょうか。

発刊当初はコンピューターもなかったため、その製作には想像を絶する苦労あったと思われます。この本では、印刷技術や鉄道の発展に伴い進化していく「時刻表」の歴史や製作の裏話などを読むことができます。

### 『四畳半タイムマシンブルース』

森見 登美彦／著 KADOKAWA (分類：913.6)

『四畳半神話大系』、十六年ぶりの続篇？ 劇団ヨーロッパ企画の『サマータイムマシン・ブルース』とのコラボレーション!!

水没したりモコン。動かないエアコン。加熱地獄の学生アパートで、その対策協議を「私」としている明石さん。そこに現れたのはもっさりした風貌の男子学生とタイムマシン・・・

その時「私」に訪れた天才的なヒラメキから始まるのは世界滅亡へのカウントダウン？

